

わたしたちの町と成田空港 Vol. 65

圏企画空港課空港班 ☎84-1279

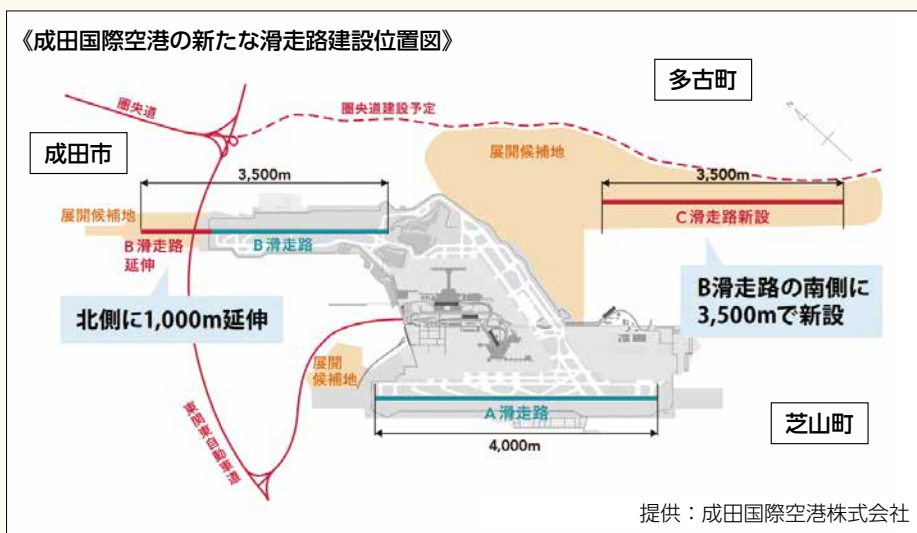
当町の北側に位置する成田国際空港は、1978年の開港以来、日本の空の玄関口として世界と地域をつなぐ大切な役割を担っています。国際線を中心に多くの航空会社が就航し、首都圏と世界各地を結ぶ主要なハブ空港として発展を続けています。

平成30年3月には、滑走路の新設(C滑走路)や滑走路の延伸(B滑走路)などをはじめとする「成田空港の更なる機能強化」の実施が合意され、令和元年10月には、A滑走路の夜間飛行制限が変更されました。(※)

現在は、令和10年度末のC滑走路の供用開始に向けて、用地取得等の事業が進められています。

また、「成田空港第2の開港プロジェクト」として、C滑走路の新設やB滑走路の延伸等を含む「更なる機能強化」に取り組むとともに、旅客ターミナルの再構築、空港アクセスの充実・強化や物流・産業拠点の形成、エアポートシティの実現に向けた取り組みが進んでいます。エアポートシティの実現に向けては、成田空港を中心とした市町が結集し、新たな産業や活力を生み出し、交通や防災インフラを整え、誰もが心豊かに暮らせる国際都市を目指しており、1月28日に、このエアポートシティの名称が、SORATO NRT(ソラト ナリタ)に決定しました。

※A滑走路夜間飛行制限の変更＝従来の6時から23時までの運用時間が、6時から24時までと1時間延長されました。



機能強化の進捗状況

C滑走路の新設：令和8年2月20日現在、工事中仮設道路工事が完了し、C滑走路横断道路(トンネル)の整備工事や滑走路の地盤改良工事等が進められています。

B滑走路の延伸：令和8年2月20日現在、東関東自動車道地下道化(トンネル化)の工事や滑走路延伸部の造成・舗装工事が進められています。

用地確保の状況(令和8年2月20日時点)

	民有地	公用地	NAA用地	計
必要面積	743ha	115ha	241ha	1,099ha
うち契約面積	616ha	—	—	確保率 88.4%

成田空港の更なる機能強化に係る工事の進捗状況は、こちらの二次元コードからご覧ください。



- 成田空港の更なる機能強化の詳細は、右記の二次元コード(成田空港の更なる機能強化ホームページ「成田空港の明日を、いっしょに」)からご覧ください。
- SORATO NRT(ソラト ナリタ)に関することは、右記の二次元コードからご覧ください。



「SORATO NRT(ソラト ナリタ)」ホームページはこちら→

←「成田空港の明日を、いっしょに」ホームページはこちら

